

今月の聖句

『神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。』

ヨハネによる福音書 第3章16節

◎12月の予定

4日(月) むかえようクリスマス
6日(水)～21日(木) 時間割変更期間
14日(木) クリスマス礼拝
教務委員会

◎1月の予定

15日(金) 子どもたちの祝会
16日(土) クリスマス祝会
18日(月) クリスマス祝会代休
22日(金) 2学期終業礼拝
教職員協議会

◎1月の予定

5日(金) 教務委員会
教職員協議会
9日(火) 3学期始業礼拝
10日(水)～11日(木) 小学校入学願書受付
11日(木) 校内研修会



秋の遠足

小1・2 小3～5

(横浜スーパリア) (さがみ湖フレイジャーフォレスト)



中1・2

(雷印メグミルク工場・三菱みなとみらい技術館) 小6(名古屋) 修学旅行



修学旅行

中3 (広島・宮島・呉)



〈今月の行事から〉

☆クリスマス礼拝 14日(木)

イエス様の誕生をお祝いするクリスマス。聖ステパノ学園ではこのクリスマス礼拝から、そのお祝いが始まります。礼拝の中では児童・生徒・教職員全員で聖歌を歌い、アコライトが聖書を読み、平塚聖マリヤ教会の宇津山司祭からクリスマスメッセージがあります。保護者の方々にもぜひお越しいただいて、一緒に始まりの時を迎えていただければ幸いです。

☆子どもたちの祝会 15日(金)

本年度は小学校が聖劇を、中学校がオリジナル劇を行います。今までの練習の成果を小学校・中学校がお互いに見合う日になります。保護者の方で予定が合わず、「クリスマス祝会」にこ来場いただけない場合は、こちらにお越し下さい。

☆クリスマス祝会 16日(土)

中学校は原作なしの完全なオリジナル劇です。生徒一人ひとりが役者、裏方など、様々な立場で責任を持って活動し、練習を重ねています。小学校では、祝会の一番のメッセージであるイエス様のご降誕を、それぞれが一生懸命に聖劇を通して皆様に伝えます。ご来場皆様と一緒に祝いましょう。



成長していく子ども達には
柔軟な心で接するようにしては

学園長 小川 正夫

子ども達が心も身体も健康で優しい人柄に成長してほしいと私達誰もが願っています。

学校では、優しい心を育む教育をといいますが、まず、柔らかな心を持った子ども達に関わる教師や保護者、大人たちが誠実で柔軟な心を持たなくてはならないでしょう。その為には子ども達と良いコミュニケーションをとれる心掛けが大切です。

人が相手から受ける印象は、言葉からが八%、声から感じ取る印象が三二%、表情や態度から受け取る印象が六〇%という統計があると聞いたことがあります。人に影響を与える仕事をしている教師、身近な保護者は、日常どのような態度で子ども達と関わったらいいか少し考えてみたいと思います。

その為に、ローマ字六文字で始まるコミュニケーションのヒントを考えてみました。

S i l l s m i l e (スマイル)

勿論、作り笑いではなく、上から目線や軽蔑の笑いでもありません。相手を見て、本当に貴方が大切、貴方が大好きと思うとき自然に湧き出てくるような、例えば、赤ちゃんの笑顔を見る時、誰もが自然に笑顔になるような、相手を受け入れる心の笑顔が大切です。

O o p e n a r m (オープン アーム)

自己開示ということでもありますが、腕組みしていたり、腰に手を当てていたり、他の仕事をしながらではなく、相手を見て、両腕を一杯に開いて、両方の掌を相手に向けて、貴方を受け入れてあげたい、ハグしてあげたいというような気持になるような姿勢です。

F l l f o r w a r d l e a n

(フワード リーン)

前かがみの姿勢になることですが、例えば私のホームドクターは、クライエントの誰にでも、診療室から廊下に出て大きな声で「小川正夫さん」と呼びます。返事をして歩いていく姿で健康状態を見ているようです。

相手の子どもだけに近づいて、心で抱え込むような姿勢で、話しかけることが大切です。

机の上のパソコンを見つめたまま、横向きに話しかけたりはしません。私達教師も、上から目線で見ていたり、またかというように距離感を置いたり、顎を前に出して後ろに反り返ったような姿勢で、だからと続ける長い説教は禁物です。殆ど聞いてはいません。

T l l t o u c h (タッチ)

ニコポンという言葉があります。笑顔で肩をポンと叩いて小さな声で励ますことですが、笑顔でハイタッチしたり、言葉があってもなくても、相手と一緒に嬉しい気持ちになって握手するのもよいでしょう。

E l l e y e c o n t a c t (適当な日本語が見つかりませんが、眼差しと眼差しを合わせて、言葉以上の心の動きを伝え合うとい

えましようか)

目は口ほどにものを言う、あるいは目は心の窓とも言います。目を見つめて話すとき、嘘を言うことはできないようです。相手の目を確り見て話しをすることが大事です。三十二秒間以上アイコンタクトしていると、心が通じ合うといえます。スマホを片手に返事をしているような意志の疎通はあり得ません。

N l l n o d (ノッド)

うなずくことですが、聞き手がうなずいて聞いてくれると思うと話し手は心を開きます。そうなんだ、そうだったんだ、成る程ね、貴方のおっしゃる通り、という気持ちを持ちながら、小さくうなずいて聞いてくれると、話し手は安心して心を開いて、話しを続けていくことができるようです。

これ迄に挙げた、S . O . F . T . E . N をつなぎ合わせると、S O F T E N (ソフン) 柔軟なとか、優しい、偏らない、とらわれない、こだわらないというような意味を持ちますが、一言で言えば、広い心をもって相手の話をよく聞くように心がけることが大切だということですが。

話をよく聞いてくれる先生の話を生徒はよく聞いてくれるといえます。



ことば

教諭 長谷川 誠子

多くの子どもたちは、絵本を読んでもらったり、お話を聞かせてもらうことが大好きです。子どものみならず、大人でも好きだという人は多いと思います。

ステパノ学園では、各学年、学期に一度ずつ、お話のボランティアの方に、お話を聞いていただいています。二十年以上前から行われており、子どもたちが楽しみにしている時間です。

絵本や素話などを、優しい、響きのよい言葉で語ると、子ども達はそのお話の世界に自然と引き込まれていきます。初めに、少しざわついていても、いつのまにか静まって集中し、お話の世界に浸っていきます。

たくさんのお話との出会いは、子どもたちの心や言葉を豊かにし、本の楽しみや世界を広げていきます。

このような経験から、私自身も子どもたちに本の読み聞かせをする時間を大切に思い、楽しみながら行っています。

また、物語や詩の音読、朗読も子どもたちが一緒に楽しめる活動です。友達の声をお互いに聴き合い、そして重ね合い、読み方一つで作品のイメージがいろいろな方向へ広がっていきます。一つのフレーズを読むにしても、一人ひとりのイメージの違いがあり、他の人

の世界を楽しむこともできます。

いろいろなお話や詩を読んだり、聞いたりしている中で、先日、こんな詩に出会いました。

「ことばは やさしく

美しく ひびきよく―」

サトウ ハチロー

美しいことばは 相手に気持ちよく伝わる
ひびきのよいことばは 相手の気持ちを
和やかにする

ことばで語り ことばで受け答える
ことばで励まし ことばで礼を言う

良く分かることばほど うれしいものはない
やさしいことばづかいは
お互いの心を結びつける

ことばはいつも一緒にいる
ことばで動き ことばで喜ぶ
ことばで嘆き ことばでうなだれる

美しいことばは 相手に気持ちよく伝わる
ひびきのよいことばは 相手の気持ちを
和やかにする

この詩を読んだとき、言葉の深さ、そして、

大切さというものを感じました。こういう言葉を身に付け、日々、発することができるようになりたいなあと思いました。

私たちは、毎日、言葉の中で生活していますが、日常の中ではあまり自分の発した言葉について深く考えるということはしていません。ですが、時々、振り返り、点検してみることも必要ではないかと思わされました。

言葉の先にはいつもその言葉を受け取る相手があります。自分の発する言葉を、少しでも意識できれば、相手に気持ちよく伝わり、相手の気持ちを和やかにして、お互いの心を結びつけることができるようになると思います。また、言葉の響きというのも大切で、同じ言葉を言ったとしても、相手に与える印象は大きく変わります。

自分の周りにも素敵な言葉を交わしている人たちがいます。そんな人たちの言葉を聞いてみると、本当に和やかになります。また、美しい言葉や優しい言葉を使っていると、その人自身の心も穏やかになり、良い相乗効果となるように感じます。

そのような言葉が子供たちの中にたくさん蓄えられるように、素敵な言葉がいっぱい詰まったお話を読んであげたり、聞くことのできる環境を整えていきたいと思っています。



皆さんは小学校で習う円周率を覚えていませんか。3.14という数字を思い出す人も多いかもしれませんが。しかし、実際は円周率は3.14159265358979... となりません。

円周率の一部を書き出してみると次のようになります。

3.14159265358979.....

円周率はこのように無限に続く規則性のない小数としてあらわされるのです。ただ、日常生活で円周率はだいたい3.14だと知っていれば十分です。だから、小学校では円周率は3.14として扱われているのです。一方、「この数字の列には何か意味があるのではないか。」と現在も世界の数学研究者たちが円周率について研究を行っています。そこで、今回は円周率の話をつくつか取り上げてみたいと思います。

私が円周率のことですと疑問に思っている問題をご紹介します。聖書の中で出てくる円周の記述です。

旧約聖書列王記上第7章23節

「彼は鋳物の「海」を作った。直径10アンマの円形で、高さは5アンマ、周囲は縄で測ると30アンマであった。」

今の知識からすると、これは間違いであることがわかります。周囲は円のことなので、

約3.14アンマであるはずなのにどうして30アンマと書かれているのでしょうか。1.4アンマ程足りないはずなのです。

当時、円周率を3と考えていたのででしょうか。はたまた別の理由があるのか謎は深まるばかりです。いつか答えがわかり次第また皆さんにご紹介したいと思います。

次に取り上げるのは、円周率の計算の話です。時代と共に、よりよい計算方法、よりよい計算器具が発見、開発されてきました。そして、それらを用いて小数点以下どこまで円周率を計算することができるのか挑戦がなされてきました。

アルキメデスは既に円周率が3.14になることを知っていたと言われています。つまり、小数点以下2桁までは紀元前二〇〇年にわかっていたという事になります。そして、時代が進むにつれて円周率は微分積分学の知識を使いコンピュータで計算がなされるようになりました。では現在円周率はいったい小数点以下何桁くらいまでがわかっていると思いますか？なんと、小数点以下10兆桁までが計算されているそうです。

よりよく計算ができるようになり円周率についてわかってきた特徴があります。一つは、円周率には0〜9までの数字がほぼ均等に出現しているということ。円周率にはある数だけ多いということはないという事です。もう一つは、円周率の小数点以下の数字の列には世の中のありとあらゆる数字の列が含まれて

いるという事です。たとえば、世の中に存在する電話番号の数字は円周率の数字の中に必ず含まれています。

円周率の計算がなされて二〇〇〇年以上たっているにも関わらず円周率の数字の意味を明快に説明した人はいまだにいません。だから、研究者たちは円周率に魅力を感じ、これからの計算し研究を進めていくことでしよう。そして、いつか誰かが円周率の謎を解決する日が来るかもしれません。

最後にπに関する不思議な(魅力的な)公式をご紹介します。

$$\frac{1}{1} - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \frac{1}{7} + \frac{1}{9} - \frac{1}{11} + \frac{1}{13} - \dots = \frac{\pi}{4}$$

$$4 \left(\frac{1}{1 \times 5^1} - \frac{1}{3 \times 5^3} + \frac{1}{5 \times 5^5} - \dots \right) - \left(\frac{1}{1 \times 239^1} - \frac{1}{3 \times 239^3} + \frac{1}{5 \times 239^5} - \dots \right) = \frac{\pi}{4}$$

$$\frac{1}{1^2} + \frac{1}{2^2} + \frac{1}{3^2} + \frac{1}{4^2} + \frac{1}{5^2} + \dots = \frac{\pi^2}{6}$$

$$\frac{1}{1^2} + \frac{1}{3^2} + \frac{1}{5^2} + \frac{1}{7^2} + \frac{1}{9^2} + \dots = \frac{\pi^2}{8}$$

$$e^{i\pi} + 1 = 0 \quad \text{自然対数 } e = 2.71 \dots$$

支援相談員 山口 滋美

「京都秋の古本まつり」に行つて来ました。若いころからなんとなく古本屋が好きで、学生の頃は神田の古本屋街をぶらぶら。でも、気の弱い若輩者ゆえ、店の外の本箱に詰められている「一山いくら」を買うのが精いっぱい。意を決して店に入ったとしても、ドアから一メートル以上は進めず退散、といった有様。それが今では、敷居の高そうな老舗の古本屋でも、路地裏にある得体のしれない怪しい古本屋でも、何のためらいもなく入つていけるのは、慣れというより、年寄りの凶々しさか。古本屋の奥にはたいてい、偏屈そうなオヤジさんが座つていて、客には目もくれず何かを読んでいる。目はあげないけれど「冷やかしの客かどうか」品定めをしているのはみえみえだ。店に入つてすぐに、見当違いの店に入ってしまったことに気づいても、あたかも探していた本が見つからなかったような振りをして、そちらも気配を消しているような振りをして、オヤジさんの前を悠然と通り過ぎて店を出る。

そんな無駄な気遣いをしなくて済むのが、京都で年三回行われる「古本まつり」。夏は下鴨神社の境内で、秋は知恩寺の境内で行われる。夏バージョンは、暑さと熱気と、そして「蚊」との闘いで、体力勝負である。それで

も、高い敷居のかわりに開放的なテント、「〇主義」のような店主のかわりにアルバイトなのか若いレジ係がいて、すこぶる「ゆるい」。何の構えも必要ない。さらに今回は、さわやかな秋。天候にも恵まれ、ひたすら本との出会いに専念する。リュックを背負い、両手を自由にする。宅配所を確認し、どんな大量に買つても「送ればいい」という状況を確認する。さあ、準備万端。

本との出会いは不思議だ。背表紙を端から目で追つていく。急に目に飛び込んでくる題字がある。それは直観としかいいようがない。本の方から近づいてくる感じで、大勢の人の中から恋人を見つけるような感覚と似ている。

この本もそのようにして、不意に目の前に現れた。緑地に白で「昆虫」と書かれている。その下に「進士織平著」、さらに下に「めぐろ少国民文庫」とある。手に取ると、箱入りの本で、本来は白であった部分が茶に近く変色している。奥付を見る。「昭和十七年十一月十五日発行 定価二圓」とある。古本の魅力はこの奥付にあると勝手に決めている。発行日の示す時代に一気にタイムスリップ。その時代の色、空気がいっぱい詰まったものが目の前にあり、実際にその時代の人が手にしたものを自分も手にしていることが嬉しいのだ。そして、欲しくなる。

パラパラとページをめくる。「皆さんは、トンボ採集をしたことがありますね。バッタやイナゴを捕へたり、蝶やカブトムシを見たり、

とつたりしたことがありますね。あれ等は皆んな昆虫です。ですから、私が皆さんに昆虫を知つてみますかと尋ねましたら、ハイ知つてみますと答へるでせう。「今度は脚をしばらく見ませう。トンボには脚が何本ありますか、六本、さうです。右側に三本、左側に三本ですから三對ありますね。」これらの文、正式には文体かもしれないものに、目が釘付けになった。この時代には、こんなふうに子どもたちに語りかける本があったのだ。こんなふうに出で、この本を読んだ子どもたちがいたのだ。

そう思うと、ますますこの本が欲しくなつた。昆虫の研究をしているわけでもなく、子どもたちに教えるわけでもないけど、この本のもつ雰囲気は自分に取り入れたいと思つた。こんな風に柔らかく語りかけられる人になりたい。もし、今授業をしたら、こんな風に、語りかけて授業をしてみたい。そうしたら、子どもたちは柔らかい気持ちになるだろうか。興味をもつだろうか。想像がどんどん膨らんだ。自分も柔らかい人間になれるだろうか。そのためにはこの本を身近に置きたい。定価は二千五百円か。そんなことは問題じゃない。

こうして、「自分の生きざま」という本棚に、また一つ、新しい「古本」が仲間入りした。

「小学校」一・二年生の遠足は、よこはま
スーパリア動物園へ、三・五年生は、さがみ
湖フレジャーフォレストへ行ってきました。

小二 Y・Y

きのう、遠足にいきました。ペンギンが一番かわいかったです。おひるごはんの時にあそべてよかったです。またいきたいです。おやつもおいしかったです。おべんともおいしかったです。

小五 F・Y

秋の遠足で班長をやりました。行ったところは、さがみ湖フレジャーフォレストです。まずは、ターザンマニアで遊びました。かんとんに見えたけどけっこううでを使いました。楽しかったので三十分が早く感じました。次は、ピカソのタマゴです。たくさんありました。バランス、運、はんだん力を使うアスレチックで、すごくむずかしいわけではありませんが、あせをかき、次はなにがあるかと楽しみでした。その次は、バードコール作りでした。キュキュキュツと鳴きます。やすりでみがいて色をぬると完成です。きれいになりました。ごはんを食べた後の班活動では、からくりとうげ、見た目は簡単そうでしたが、ふつうのかべがあいたり、のぼって、おりて、のぼって、おりてのくりかえし。とちゅうでギブアップでした。リフトに乗りました。登っていくだけなのに、とても楽しかったです。次、かんらん車に乗りました。乗ったらおそ

い！ので、ゆっくりゆっくりのぼり、一番ってんになるとけしきがすごかったです。山がいくつも見えました。そして、無事に帰ってきて、班長になって良かったし楽しかったと思えました。

六年生は、名古屋方面へ修学旅行に行きました。
名古屋城と犬山城の違いを肌で感じ、歴史学習に繋がりました。

小六 S・H

私は、修学旅行で名古屋城へ行きました。名古屋城は、私が思っていたよりも、とても大きかったです。石垣の石がとても大きくて、この石を運んで建てたのは、すごいと思いました。

お城の上から見た名古屋の景色は、とても大きな町でした。金のしゃちほこを見ました。大きくてきれいな金色でキラキラしていました。もう一度名古屋城と犬山城へ家族で行ってみたいと思いました。

小六 K・S

名古屋に行きました。一日目に、犬山城に行きました。思っていたより、少し地味でした。でも、上に登ってみると、絶景でした。名古屋駅周辺などが見えました。しかも、岐阜城が少し見えました。景色がとてもきれいでした。

屋根は、しゃちほこが一つ取れていました。これは、今年の七月に雷で取れたものらしいです。犬山城内に取れたしゃちほこが展示し

てありました。どれも面白かったです。とても楽しかったです。

小六 Y・H

修学旅行に行きました。名古屋城や犬山城に行った後、僕たちが泊まる宿に行きました。二十分くらいは、部屋で待機していましたが、その後には夜ごはんを食べました。その日はごはんは、味噌カツでした。またみんなでの宿に行きたいです。本当に本当に楽しい修学旅行でした。

小六 T・N

修学旅行に行きました。一日目にお城周りをしました。とても楽しかったです。

私が、良かったと思ったのは、名古屋城です。お城に入る前に、石垣がありました。六年生の背の高い人で比べても、二人か、三人位の高さはあってびっくりしました。そして、下をのぞくと、おほりがありました。すごかったです。これは、昔の武士たちは攻めるのに苦労しただろうなと思いました。もう一つびっくりした物があります。それは、人形が飾ってあったことです。服もかわいかったし、人形も良かったです。

そして、お城の中では、金の鯨の模型がすごかったです。屋根に乗っているのは、こういうのなんだとびっくりしました。展望台の景色は最高でした。そこで、お土産も買いました。妹と、自分のを買いました。また、家族で行きたいです。いい思い出があります。ありがとうございました。

「中学校一・二年遠足では雪印メグミルクと三菱みなどみらい技術館へ行きました。」

小澤先生へ

中一 I・M

今年の秋の遠足は海老名にあるメグミルク工場と横浜にある三菱みなどみらい技術館へ行きました。大磯からのバスで行き、隣の友達とも沢山おしゃべりして、楽しいバスレクもやって、海老名運動公園でも遊びました。そこは陸上や水泳などができるとても楽しい所なので来てみてください。次の海老名工場では牛乳を飲んだり、ジュース、牛乳、飲むヨーグルトを製造する所を見学しました。ヨーグルトのグレープ味はそこで初めて飲むものでした。普通のヨーグルト味のチーズも食べましたが、どちらもおいしかったです。三菱みなどみらい技術館では飛行機の操縦や、電車の運転体験をしました。これもとても楽しいので、ぜひ来てみてください。いつか会える日をぼくは楽しみにしています。

秋の遠足で楽しみ学んだ

中二 K・R

雪印メグミルク海老名工場へ行きました。まず工場のビデオを見ました。いろんな牛からミルクをとって、工場で殺菌したり検査をじっくりしたりしていました。また、メグミルクでは牛乳か乳飲料かを目の自由な人でも分かるように牛乳には、へこみがついてい

るところも特徴でした。

三菱みなどみらい技術館に行くまでにバスレクをしました。遠足の前にクラスで話し合い、ゲームやクイズなどを決めました。中一が楽しんでくれてよかったです。

技術館では、海洋ゾーンで自分だけの魚を作ったり、ゲームをして楽しめました。

修学旅行では広島原爆ドーム・厳島神社・大和ミュージアムを見学しました。各自が、「平和について考える」大きなきっかけとなりました。

平和について考える

中三 M・K

僕は、修学旅行で原爆が落ちた広島に行きました。原爆ドームを見学して思ったことが残っていて、とても残酷だと思いました。本当に戦争はやってはいけないと思いました。平和資料館も見学しました。被爆者の画像や原爆が落ちた時のビデオや被爆者の遺品などを見ました。見学している途中で気分が悪くなり、吐き気がし、一瞬立てなくなりました。原爆で亡くなった人々がとてもかわいそうだと思います。三日目に大和ミュージアムに行きました。戦艦大和（模型）はカッコいいと思いました。大砲も大きかったです。でも、沖繩へ行く途中で沈没して、大和に乗っていた多くの人は亡くなってかわいそうだと思います。今の日本は戦争がないし、テロもないからとても平和で、「生きていて良かった」と思いました。

今、自分ができることは、まずは友達とケンカをしないこと。ケンカをしてしまうと争いがどんどん増え、平和でなくなってしまうのでケンカはしないです。困っている人がいるなら助ける。人を差別しない。それをやったら、平和になると僕は考えています。

中三 M・T

僕は、修学旅行で原爆ドームと平和記念館に行きました。原爆ドームを何回か写真で見たことがありましたが、実際に見たことはなかったのでも迫力がありました。七十年前にこのようなものがあつたんだなと思いました。広島復活教会の執事さんに案内してもらいました。お話を聞いている時はとてもしみじみしました。原爆ドームは負の世界遺産に登録されていることを知りました。平和記念館では戦前の広島と戦後の広島の様子をプロジェクトジョンマッピングで見ました。広島に落とされたリトルボーイというのはとにかくすごいやつで、とても驚きました。親や親せきを失った方は戦後どれだけ悲しい思いをしたのかとても考えることができせん。日本以外の国では紛争やテロなどが収まりません。一日も早く核兵器のない世界にしたいです。二度と負の遺産を作らせないように僕は、周りの友達と仲良くしたり、世界の人に平和についても一度学んでもらうと良いと思います。



今月も咲間直人先生へのインタビューをお届けします。

—聖書の時間はどんな勉強をしているのですか。

「聖書の言葉は難しいですが、まず知ってもらわないと一つ一つの話がつながっていきません。小学校の1〜3年生では新約聖書中心で、イエス様の誕生、たとえ話、奇跡など基本的なことを学びます。四〜6年生は旧約聖書の創世記から始まってモーセまで。中学では再び新約聖書のイエス様の誕生、死、復活、そして弟子たちが宣教活動に入るまでを、旧約聖書にも触れながら学びます。礼拝はとても大事で、授業とリンクさせて理解をより深めてほしいです。」

「キリスト教教育は聖書科だけでは難しいです。学校でごく自然にイエス様の話ができたり聖歌が歌えたりする雰囲気がとてもありがたいと思います。」

—ステパノを卒業したらキリスト教と離れてしまう生徒もいます。

「子どもたち一人ひとりが自分の中に支えとつか確固たるものができればいいと思って

います。祈ることは時と場所を選ばず心の中でいつでもできますから、祈りによって神様と対話して、自分の中で答えを見つけてもらいたいです。」

—アコライトとは。

「礼拝奉仕者のことです。今二十名ちよつとの児童・生徒が担当しています。ろうそくに火を灯す、司祭のお手伝い、礼拝の道具の準備などをします。裏方での奉仕を率先して中三まで続ける気持ちがある子を求めています。これまでも何年も掛けて、先輩が後輩に教えるという形を整えてきました。」

—趣味は何ですか。

「ガーデニングです。夏ミカンやブドウなど実の付く木が好きで、今はバラも育てています。ハンモックを吊るしたり、近所の子どもたちが遊びに来るので、興味を持てるように小さな扉をつけたオブジェを作ったり、庭に飾る雑貨を探したり；やりだすと意外と凝るんですよ。いいものが見つかるまで何年も待ちます。植物はその月によって表情が違ふし、一年たつとまた変わるので飽きることがありません。」

ステパノが大好きだという咲間先生、ストレスは全くないのだそうです。神様を強く信じながらも、柔らかな雰囲気と、先生ご自身の生活を楽しまれている様子が伝わって来ました。話を伺う私たちも元気になりました。

STEPHEN'S NEWS

【表彰】

日本漢字能力検定

8級 小5 K・K

平成29年度大磯町小学生交通安全

ポスターコンクール 第4学年

最優秀賞 小4 S・K

標語コンクール 優秀賞

中1 A・S

【収穫感謝礼拝】

十一月十六日、礼拝をお捧げしました。神さまは、豊かな地の産物を実らせて、わたしたちを養ってください。ありがとうございます。食物への感謝の心をあらためて感じました。



保護者の皆様、収穫物をお捧げくださり、ありがとうございます。

編纂集末後記

学園もクリスマス準備が始まりました。礼拝で子ども達が灯すアドベントクラントの火を見つめ、心の準備もしていきたいと思います。(も)

代表者 学園長 小川 正夫
 発行者 ステパノ学園小学校・中学校
 ステパノだより編集委員会
 〒三五〇〇三 神奈川県中郡大磯町大磯八六八
 TEL 0463・61・1298
 FAX 0463・61・9739
<http://www.stephen-toiso.ed.jp>
 二〇一七年十二月七日(木)発行 第216号